**行動支援計画書**

**セクション1：背景と機能アセスメント情報**

子ども/クライアントの氏名：

支援チーム：

チーム・リーダー：

問題提起行動：

測定計画：

行動に取り組む理由：

該当するものをすべて選択してください：

* 自己への危険　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□ 他者への危険
* 物的損害のリスク　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□ 本人への非難や排除
* 自身の適応行動（すなわち、友だちを作る、学習などの目標を成功裏に達成する能力）を妨げる
* 他者の適応行動を妨げる
* その他

使用した機能アセスメント方法：

該当するものをすべて選択してください：

* 非構造化観察　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　構造化観察
* インタビュー　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　記述分析
* 仮説検証　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　機能分析
* その他

行動の機能：

該当するものをすべて選択してください：

* 注意を引く　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　何かから逃避/回避する
* モノ/活動へのアクセスを獲得する　　　　　　　　　□　自動強化
* 特別な考慮事項

**セクション2：先行事象に基づく支援**

特定したセッティング事象：

セッティング事象に対して計画した対応：

動機づけの支援：

その他の先行支援：

**セクション3：機能的代替案の指導**

代替スキルの指導：

**セクション4：結果事象に基づく支援**

*以下のセクションは、子ども、生徒、またはクライアントに適用するもののみ記入する。*

強化に基づく支援：

消去に基づく支援：

弱化に基づく支援：

**セクション5：計画を軌道に乗せる**

計画の再評価基準：

計画のフェイディング基準：

習得基準：

危機介入方法：

*行動計画にグラフを添付する*

（グラスバーグ著「自閉症の人の問題提起行動の解決」（明石書店）p.188-191より）

（記入の仕方については、同書のp.192-6を参照してください。）